5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲的で、物語教材や説明的文章教材を好きになり、楽しんで読み取りをしようとしている。 ・俳句やレポート作文など、意欲的に取り組む態度がある。 ・タブレット活用することで、作文やレポートの苦手意識が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎作文で、正しい原稿用紙の書き方が身に付いていない児童が多い。文末表現が統一されていないなかったり、鍵括弧の使い方に誤りが見られたりする。習った漢字を使わずに書くことも目立つ。 ○漢字の定着における個人差が大きい。ミニテストでは満点が取れても、50問テストになると、過去の漢字を忘れていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎タブレットで作文を書く場面と、手紙で書く場面を分け、文章の中で漢字を使ったり、文末表現を整えたりする意識を高める。 ・漢字の小テストは継続的に行うが、パターンを変えて取り組むなど工夫する。 ・読み取りに関する自分の考えを交流する場面を単元の中に設定する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が高く、意欲的な取り組みが見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資料を正しく読み取ることが苦手な児童が多い。 ・社会的事象について、疑問に思ったことや感じたこと、自分の考えを書くことに苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資料の読み取り方を丁寧に指導し、自力解決の時間を確保する。 ・資料から分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動にすすんで取り組む児童が多い。 ・立式から課題解決までの過程において、根拠に基づいて自分の考えを表せる児童が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎答えを求めた後、検算をしたり、見直しをしたりすることをせずに間違える等、ケアレスミスが多い。 ・分度器の見方や角の大きさについて基礎の定着が不十分な児童が一定数いる。 ・もとにする量と比べられる量の見分け方がまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えを図や数直線等を使って表し、根拠とすることができるようにする。 ・設問をよく読み、設問に合わせて答えを導き出せるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科への興味・関心が高く、特に、実験・観察に対して意欲的な取組が見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎考察（予想・結果）を書く際、自分の言葉でまとめることが苦手な児童がいる。 ○実験結果から事実の理解に繋がっていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎結果から分かったこと、結果から生まれた新たな疑問など、考察に書く内容を具体的に示すことや例題に即した内容を掲示するようにする。

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよく聴き、友達と協力して音楽活動を行うことができる。 ・リコーダーの演奏では、互いの音をよく聴き合いながら、音色の響きを生かして二重奏を行うことができる。 	<p>◎歌唱では、二部合唱への意欲は高いが、きれいなハーモニーをつくるための声の出し方や響かせ方の技能が十分に身に付いていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の響きをより豊かにするために、呼吸や声の響きに留意した歌い方を試したり、歌声で和音の響きをつくったりするなどして、よりよい響きで合唱ができるようにする。
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気の中で集中して取り組める児童が多い。 ・新しい表し方に積極的に取り組み、自分なりに工夫して表すことができる児童が多い。 	<p>◎既習事項からさらに創意工夫を加えたり、表現の幅を広げたりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアや友達の良いアイデアを発表することが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の道具や材料の新しい使い方や技法を示したり、新しい道具や材料に触れさせたりし、様々な表現方法を体験させる。 ・タブレット端末を活用して、互いのアイデアを鑑賞する機会を設ける。
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができた。 ・活動を通して、裁縫や調理のポイントを押さえることができた。 ・安全に気を付けて活動を行うことができた。 	<p>◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手先の不器用さにより、縫い目がそろわない児童がいる。 	<p>◎家庭科で学習したことを日常生活に関連付けることで、より一層の理解の定着を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の役割を考えさせて取り組ませる。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。 ・体育に関する道具を正しい使い方で使うことができている。 	<p>◎自分の課題に向かって、どう取り組めばよいのか分からず、ただ単に取り組む児童が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のポイントを学ぶ時間、学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、英語を聞き取ろうとしたり、すすんで声を出して発音したり意欲的に取り組む児童が多い。 	<p>◎単語を聞き取る際、似た発音の単語を間違えて覚えていることがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・綴りを見せたり、音と物を一致させるためにフラッシュカードを使用したりする。